

# 救急・ICUの 頻用薬を使いこなせ!

薬の実践的な選び方や調整・投与方法がわかり、  
現場で迷わず処方できる

序 .....	志馬伸朗	3 (1781)
Color Atlas .....		8 (1786)

## 第1章 循環

1. 心肺蘇生に使用する薬剤 ..... 大下慎一郎 11 (1789)  
1. 心肺蘇生時に使用が推奨されている薬剤 ● Advanced Lecture 2. 心肺蘇生時に使用する可能性のある薬剤
2. 循環作動薬 ..... 青景聡之 18 (1796)  
1. ドパミン 2. ドブタミン 3. ノルアドレナリン 4. アドレナリン 5. バソプレシン 6. ニトログリセリン 7. ニカルジピン 8. ミルリノン 9. フェニレフリン 10. エフェドリン
3. 抗不整脈薬  
頻脈性不整脈の診療アルゴリズム ..... 西山 慶 27 (1805)  
1. 総論 2. 不整脈診療のアルゴリズムと薬物治療 ● Advanced Lecture : ICUでの新規発症の心房細動：抗凝固療法を行うべきか？

## 第2章 神経・麻酔・鎮静

1. 鎮痛・鎮静・筋弛緩薬 ..... 太田浩平 35 (1813)  
1. 鎮痛薬 ● Advanced Lecture : ICUでの鎮痛や解熱を目的としたアセトアミノフェンとNSAIDs  
2. 鎮静薬 3. 筋弛緩薬

- 2. 抗痙攣薬** .....山賀聡之, 志馬伸朗 45 (1823)  
 1. 痙攣の評価と原因検索 2. 抗痙攣薬の適応と選び方 ● Advanced Lecture 3. 副作用, 投与の際の注意点 4. 超具体的な投与方法 5. 類似薬と使い分け ● Advanced Lecture 6. 子痙 ● Advanced Lecture
- 3. 局所麻酔薬** .....矢田部智昭 54 (1832)  
 1. リドカイン(局所浸潤麻酔, 硬膜外麻酔, 伝達麻酔) 2. リドカイン(表面麻酔) 3. ロピバカイン(局所浸潤麻酔, 硬膜外麻酔, 伝達麻酔) 4. レボプロピバカイン(硬膜外麻酔, 伝達麻酔) 5. 局所麻酔薬中毒 ● Advanced Lecture: 1. ICUにおけるガイドライン 2. 誤注入に注意しよう
- 4. 抗精神病薬・睡眠薬**.....藤井菜緒, 古賀靖卓, 鶴田良介 61 (1839)  
 1. せん妄とは 2. せん妄治療 3. せん妄予防
- 5. 中枢神経系に作用する薬剤** .....岩崎祐亮, 細川康二, 志馬伸朗 67 (1845)  
 1. 浸透圧利尿薬(脳圧降下薬) 2. 脳梗塞急性期の治療薬(血栓溶解薬と脳保護薬) 3. くも膜下出血後の遅発性脳障害予防で使用される薬剤

## 第3章 腎/電解質

---

- 1. 利尿薬**  
 フロセミドを中心に .....大木伸吾, 志馬伸朗 75 (1853)  
 1. 救急・ICUでのフロセミドの使い方 2. 類似薬と使い分け
- 2. 電解質補正** .....京 道人, 志馬伸朗 82 (1860)  
 1. 低カリウム血症 2. 低ナトリウム血症 3. 高カリウム血症 4. 低リン血症
- 3. 輸液製剤**  
 輸液選び, まずはここから .....小林靖孟, 志馬伸朗 90 (1868)  
 1. 輸液の基本 2. 生理食塩水と5%ブドウ糖液 3. 輸液製剤の種類と特徴 4. 血漿増量剤, アルブミン製剤

## 第4章 抗血栓薬/拮抗薬・輸血

---

- 1. 抗血栓薬・拮抗薬の使い方** .....小川 寛, 佐和貞治 100 (1878)  
 1. 抗血小板薬 2. 抗凝固薬
- 2. 輸血**.....下戸 学, 堤 貴彦, 大鶴 繁 109 (1887)  
 1. 血液製剤総論 2. 輸血の適応 3. 輸血の副作用 4. 外傷時の超緊急輸血の考え方 5. PC, FFPの使い方

## 第5章 内分泌

---

1. ステロイド ……………石井潤貴, 志馬伸朗 116 (1894)
  1. 総論：救急・ICUでのステロイドの概観 2. ステロイドの適応 3. 副作用, 投与の際の注意点 4. 超具体的な投与方法 5. 類似薬と使い分け ● Advanced Lecture：パルス療法
2. その他の内分泌系の薬剤 ……………江木盛時 124 (1902)
  1. インスリン製剤 2. 甲状腺ホルモン 3. パソプレシン

## 第6章 基本的な抗菌薬

---

1. ペニシリン系薬剤 ……………小林敦子 130 (1908)
  1. ペニシリン系薬剤の特徴 2. 適応 3. 副作用, 投与の際の注意点 4. 超具体的な投与方法 5. コストも考えよう
2. セフェム系薬剤 ……………笠原 敬 135 (1913)
  1. セフェム系薬剤の特徴 2. セファゾリン, セファレキシン 3. セフォチアム 4. セフメタゾール, フロモキシセフ 5. セフトリアキソン, セフォタキシム 6. セフカペン, セフジトレン, セフジニル 7. セフトアジジム 8. セフェピム ● Advanced Lecture
3. 抗MRSA薬……………川村英樹 142 (1920)
  1. 総論 2. バンコマイシン (VCM) 3. テイコプラニン (TEIC) 4. リネゾリド (LZD) 5. ダプトマイシン (DAP) 6. アルベカシン (ABK)

## 第7章 その他

---

1. 気管支喘息に用いる薬剤  
超訳！ 喘息予防・管理ガイドライン2018の薬物療法……………緒方嘉隆 149 (1927)
  1. 注意！“気管支喘息の疑い”を安易に信ずるべからず！ 2. 気管支喘息発作時の治療 3. 超具体的な使用法
2. 消化器用薬 ……………遠藤文司 154 (1932)
  1. 消化性潰瘍治療薬～プロトンポンプ阻害薬 (PPI) を中心に 2. 制吐薬・蠕動促進薬 3. 下剤 4. 止痢薬・プロバイオティクス 5. 肝性脳症治療薬
3. 経腸栄養剤 ……………鈴木 慶, 志馬伸朗 166 (1944)
  1. 救急・ICUにおける栄養療法 2. 救急・ICUでよく使用する経腸栄養剤 3. 適応 4. 副作用, 投与の際の注意点 5. 超具体的な投与方法 6. 類似薬と使い分け 7. 研修医からよく聞かれる質問

**4. 小児における処方・投与量設定の考え方とコツ** .....黒澤寛史 173 (1951)

1. 心肺蘇生に使用する薬剤, 抗不整脈薬 2. 鎮痛・鎮静・筋弛緩薬 3. 抗痙攣薬

**5. 救急・ICUでの使用に議論のある薬剤**.....岸原悠貴, 山本良平, 安田英人 179 (1957)

1. シベレスタットナトリウム 2. ガベキサートメシル酸塩 3. ウリナスタチン 4. ドパミン  
5. グリチルリチン・グリシン・システイン配合剤 6. グルタミン・ファイバー・オリゴ糖配合飲料

● **索引** ..... 188 (1966)

● **執筆者一覧**..... 194 (1972)

**Column**

ODSの概要 ..... 85      ダビガトランの特異的拮抗薬 ..... 106